**脱炭素都市づくり大賞　応募申請書**

申請年月日：令和５年　月　日

1. 都市開発事業の名称

|  |
| --- |
|  |

1. 申請者（主たる事業主）

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 |  |

1. 共同申請者

|  |  |
| --- | --- |
| 役割等 | 団体名 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜行を追加ください。

※該当しない項目には「―」と記入ください。

1. 申請者（事業主）の担当者連絡先（連絡窓口）

|  |  |
| --- | --- |
| 部署名 |  |
| 氏名（漢字・カナ） |  |
| 電話番号 |  |
| メールアドレス |  |

1. 都市開発事業に関する基本情報

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 |  |
| 地域地区等  ※指定されている用途地域、容積率、建ぺい率等を記入すること  ※開発の前後で変更があった場合には分かるように記入すること |  |
| 主要用途 |  |
| 事業完了時期  ※リニューアルの場合はその時期を記入すること  ※見込みの場合はその旨記入すること | 年　　月　　日 |
| 他表彰制度における受賞歴 |  |
| 関連URL  ※申請事業に関するウェブページ等がある場合 |  |
| 都市開発事業の概要  ※300字程度で記入すること |  |
| 活用制度手法  ※土地区画整理事業、市街地再開発事業等に該当する場合は記入すること |  |
| 都市開発エリアが分かる図面  ※全体の開発が広範囲の場合は、応募する区域を示すこと  ※可能な限り従前の街区割がわかるベース図とすること  ※別添でも可 |  |

1. 土地利用計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建築敷地［㎡］ | |  |
| 建築敷地以外 | 道路［㎡］ |  |
| 緑　 地［㎡］ |  |
| その他［㎡］ |  |
| 合計［㎡］ | |  |

※適宜行を追加ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 整備計画図  ※上記の土地利用計画の位置関係が分かる図面 |  |

1. 都市開発事業エリア内の建築物の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 建築物名称 |  |
| 階数 | 地上　階　、塔屋　階　、地下　階 |
| 高さ［ｍ］ |  |
| 建築面積［㎡］ |  |
| 基準階面積［㎡］ |  |
| 延べ面積［㎡］ |  |
| 構造 |  |
| 付加的な取組  ※該当するものは■としてください。 | □ZEB認証  □再エネ導入  □BEMS  □BCP対応（以下に取組の概要を記入ください）  説明： |

※複数の建築物がある場合は複製して記入ください。

1. 取組内容

＜必須事項＞

①2030年度までの脱炭素実現

・応募に係る事業の区域において電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを達成していること又は2030年度までに達成する計画であること

※環境大臣賞はコージェネレーション由来の電力を含む

※国土交通大臣賞は建築確認済のものが対象、環境大臣賞はそれ以外も対象

※2030年度までに、Ａ=Ｂを満たすことを確認ください。

①-1 再エネ等電力の利用量

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象  建物 | 用途 | 電力  需要量  ［kWh/年］ | 再エネ等電力利用量［kWh/年］ | | | | | 説明欄 |
| オンサイト再エネ | オフサイト再エネ | 小売電気事業者等の再エネメニュー契約 | 証書 | 計 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ― | ― | （A） |  |  |  |  | （B） |  |

※適宜行を追加ください。

※説明欄には再エネの種類（太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、バイオマス等）を記入ください。

※事業完了から１年が経過している場合は可能な限り実績値を記入ください。そうでない場合は推定値を記入ください。算定方法は必要に応じ、参考資料（算定方法の例）を参照ください。

※「証書」は、地球温暖化対策推進法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度における調整後排出量の算定・報告に利用可能な国内認証排出削減量・海外認証排出削減量(Ｊ－クレジット、グリーン電力証書、ＪＣＭ、非化石証書等)を基本とします。

※電力需要量にコジェネ由来の電力が含まれ、当該電力量を既にオフセットしている又は2030年度までにオフセットする計画である場合は、電力需要量の欄に内訳を記入ください。

①-2 電力需要量の算定方法

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象建物 | 電力需要量［kWh/年］ | 電力需要量の算定方法 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  | （A） |  |

※適宜行を追加ください。

※算定方法の欄には、計算式も記入ください。

①-3 再エネ等電力利用量の算定方法

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 対象建物 | 再エネ等電力の供給方法 | 再エネ等電力利用量［kWh/年］ | 再エネ等電力利用量の算定方法 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  | （B） |  |

※適宜行を追加ください。

※再エネ等電力の供給方法の欄は、オンサイト再エネ、オフサイト再エネ、小売電気事業者等の再エネメニュー契約、証書のうち、該当するものを記入ください。

※算定方法の欄には、計算式も記入ください。

※事業完了から１年が経過している場合は可能な限り実績値を記入ください。そうでない場合は推定値を記入ください。算定方法は必要に応じ、参考資料（算定方法の例）を参照ください。

以下、加点事項です。

**該当する項目に記入ください。該当しない項目には「―」と記入ください。**

＜加点事項（共通）＞

②高度な省エネ性能

・当該事業の区域における基準一次エネルギー消費量に対する削減量及び削減割合が大きいこと。

|  |  |
| --- | --- |
| ＢＥＩ |  |
| 空気調和設備等に係るエネルギーの効率的利用のための措置  基準一次エネルギー消費量　（　　　　　　　　　　　GJ/年）  設計一次エネルギー消費量　（　　　　　　　　　　　GJ/年）  ※標準入力法により計算すること | |
| ＢＰＩ |  |
| 外壁、窓等を通しての熱の損失の防止のための措置（ＰＡＬ＊）  年間熱負荷係数（　　　　　　　　　MJ/㎡・年）  　　　　　　　（基準値　　　　　　MJ/㎡・年）  ※標準入力法により計算すること | |

※複数の建築物がある場合は複製して記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 設備概要 | 電気概要 |
| 空調方式：  熱源方式：  給湯方式：  冷房熱源容量：（　　　）kW （又は　　RT）  暖房熱源容量：（　　　）kW（又は　　MJ/h）  蓄熱槽：（　　　　　　　）㎥  給湯熱源（電気・ガス・油）容量：  （　　　　）kW （又は　　　MJ/h） | 設備容量：  照明コンセント（　　　　）VA/㎡  　一般動力（　　　　）VA/㎡  　空調動力（　　　　）VA/㎡  　合計（　　　　）VA/㎡ |

※複数の建築物がある場合は複製して記入ください。

③再エネ導入の推進

・自家消費型の再エネ設備の効果的な導入（自己所有、自己託送）や、他者の再エネ設備の導入支援を行い区域内で消費すること、再エネの追加性に寄与しうる遠隔地から当該事業地への再エネ電力の融通（オフサイトPPA等）等により、事業における再エネの導入を推進していること。

③-1 区域内で消費するために自ら導入した再エネの設備容量

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | オンサイト | オフサイト |
| 設備容量［kW］ |  |  |

※オンサイト欄：区域内（屋上等）に自己所有で設置する再エネ

※オフサイト欄：自己託送方式による再エネ

③-2 区域内で消費するために他者を支援して他者が導入した再エネの設備容量

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | オンサイト | オフサイト |
| 設備容量［kW］ |  |  |

※オンサイト欄：区域内（屋上等）にPPAやリースで設置する再エネ

※オフサイト欄：オフサイトPPAや他者を支援して他者が導入した再エネ（区域内で消費するものに限る）

③-3 具体的な③-2での支援方法

|  |
| --- |
|  |

※自由に記入ください。300字程度

※③-2での導入にあたってどのような支援をしたか、具体的に説明してください。

④脱炭素技術の新規性

・従来の取組にはない技術の導入やアプローチ等革新的な取組を行っていること（次世代型太陽電池、再エネ由来水素活用、高度なEMS、高効率照明・空調、高断熱窓等）。

・当該取組の困難さとそれを乗り越える工夫について定量的又は定性的にわかりやすく説明されていること。

|  |
| --- |
|  |

※自由に記入ください。300字程度

※熱のカーボンニュートラルの取組をしている場合は、当該項目に記入ください。

＜加点事項（国土交通大臣賞）＞

⑤良質な都市の緑地の創出・維持

・気候変動への対応や生物多様性の確保、Well-beingの向上につながる都市空間における緑地の量・質の確保の取組をしていること。

|  |  |
| --- | --- |
| 緑地整備計画図  ※緑地面積も記載ください。 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組とその効果 |
| ①気候変動への対応、②生物多様性の確保、③well-beingの向上の観点 |  |
| 緑の基本計画など自治体計画との整合性や、隣接地の緑とのつながりなど、周囲との連携 |  |
| その他（　　　　　） |  |

※適宜行を追加ください。

※各項目300字程度

⑥エネルギーの面的利用の推進

・複数の建物を熱導管、自営線等のネットワークで連携することにより、エネルギー（熱・電気）を融通し、効率的なエネルギー供給を積極的に行っていること。

|  |  |
| --- | --- |
| エネルギーネットワーク概要図  ※エネルギー（熱・電気）の面的利用の概要がわかる図面。 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組や効果 |
| 熱導管・自営線等のネットワークと供給設備の概要 |  |
| 事業地内外の関係者との連携・協力体制の構築 |  |
| エネルギーの面的利用による具体的な脱炭素効果  （可能な限り定量的に） |  |
| その他（　　　　　） |  |

※適宜行を追加ください。

※各項目300字程度

⑦デジタル技術等の活用

・エネルギー利用の効率化、交通手段の高度化のほか、効果測定の面でデジタル技術等を活用し、効果の最大化を図っていること。

|  |
| --- |
|  |

※自由に記入ください。300字程度

＜加点事項（環境大臣賞）＞

⑧デコ活の推進

・区域内への充電スポット、宅配ボックスの設置、電力利用状況の通知機能の実装等、デコ活の推進に資する取組を行っていること（審査の加点事項②及び③で評価される取組を除く）。

|  |  |
| --- | --- |
| 取組名称 | 取組概要 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜行を追加ください。

※自由に記入ください。各項目300字程度

⑨資源循環・ネイチャーポジティブの推進

・材料の省資源化、リサイクルボックスの設置等の資源循環の取組や、生き物が住みやすい水辺地等のビオトープづくり等のネイチャーポジティブの推進に資する取組を行っていること。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組概要 |
| 資源循環 |  |
| ネイチャーポジティブ |  |

※自由に記入ください。各項目300字程度

⑩ライフサイクルCO2削減の推進

・建物の資材製造段階、施工段階、使用段階（審査の加点事項②で評価される取組を除く）、解体段階を通じたライフサイクルCO２排出削減の取組を行っていること。また、具体的に説明されていること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | | 取組概要 |
| ライフサイクルCO2評価の概要 | |  |
| 各  フ  ェ  ｜  ズ | 資材製造段階の取組 |  |
| 施工段階の取組 |  |
| 使用段階の取組  ※審査の加点事項②で評価される取組を除く |  |
| 解体段階の取組 |  |

※自由に記入ください。各項目300字程度

⑪熱中症対策の推進

・空冷室外機から発生する顕熱抑制技術を備えた空調機器の設置、ミストシャワーの設置、日陰の創出等、熱中症対策に資する取組を行っていること。

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 取組概要 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜行を追加ください。

※自由に記入ください。各項目300字程度

1. 申請に関わる写真や図等

|  |  |
| --- | --- |
| 外観写真  簡単な説明文を付記すること | 簡単な説明文を付記すること  任意 |
| 任意  簡単な説明文を付記すること | 任意  簡単な説明文を付記すること |

※適宜行を追加ください。

※アピールしたい写真や図等を挿入願います。

1. その他（特記事項など）

|  |
| --- |
|  |

※必要に応じ記入ください。300字程度

以上